

HOT TOPICS

大阪・京都・兵庫を
めぐります

読んで歩いて、旅する関西

CONTENTS

- 関西が舞台の作品紹介
- 文学&アートの旅 (literature&art)
- 文豪が描いた関西
- 関西まちあるき本



CHECK POINT

梅花女子大学を基点とした身近な関西、大阪・京都・兵庫。
 今回のBLTでは、この地域に関する書籍を紹介します。
 また、文学記念館や、文化・芸術施設もあわせて紹介。読書の秋、芸術の秋。
 文学&アートな秋を楽しんでみてはいかがでしょうか？



2013年度
後期

図書館展示と講演会

図書館3階メインカウンター前の展示コーナーでは、年に数回展示を行っています。展示に関連した講演会も実施しています。貴重な資料、興味深いお話を聞き取れるチャンスです。みなさんの参加をお待ちしています！（いずれも無料です）

展示

「ファッションはモノからコトへ、そしてオシャレなココロを提案します。」

2013年 10月中旬 ▶ 12月上旬

ファッションとは、アパレルや雑貨などの“モノを買う”だけでなく、スポーツ・旅行・インテリア・音楽・映画・美術・美容などといった“コトを楽しむ”ライフスタイルに広がっています。そして、さらにココロや感性へと、価値観そのものが変化し、そのなかでファッションとファッションビジネスの変化も始まっています。今回の展示は、“ココロや感性”を感じて頂ける書物をご紹介します。

講演会

「ファッションビジネスの歩み」

2013年 11月16日(土) 13:00 ▶ 14:30 定員 30名

[講師] 梅花女子大学 短期大学部 生活科学科 教授 権世 和歌子

戦後ファッションビジネスの歴史は、画一的なファッションから多様化へと徐々にシフトし、最近では今までにないほどの転換の時期に差しかかっています。世の中が大きく変化しています。世の中の仕組みそのものが限界を感じて、新たな仕組みを模索し始めています。モノが足りない時代から、それが満たされると価値観を感じられるモノを重視するようになり、さらに楽しくなりそう、感動できそうという思いを大切にする時代になってきました。そのようなファッション業界の移り変わりを探っていきます。

今後の SCHEDULE

伊賀資料展

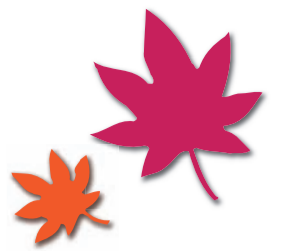
- 展示期間 2013年12月中旬～2014年2月上旬
- 展示期間 2014年4月上旬～5月上旬

2014年度 後期 講演会・展示

開催を予定しております。内容につきましては、順次お知らせいたします。

※受講料無料・要事前申し込み
(スクールバスでお越しの方に限ります)

～大阪・京都・兵庫をめぐろう～



読んで、歩いて、旅する関西

大学からのアクセスが便利な、大阪・京都・兵庫。今回のBLTでは、私たちの身近なこのエリアにまつわる書籍をご紹介します。読書や旅を通じて新たな魅力を発見しよう。めざせ女子力アップ!



大阪・京都・兵庫が
舞台の作品



『ベニシアの京都 里山日記』
『ベニシアの京都 里山暮らし』
ベニシア・スタンリー・スミス著 梶山正写真・訳
世界文化社、2009.1-2009.4
【請求記号:590.4||V57】

イギリスの貴族出身の著者がつづる、京都大原の暮らし。とても丁寧に自然と共に生きるベニシアさんからの言葉は、シンプルで、すっと心に沁みこんできます。これから社会に出て行くみなさんには是非読んでほしいシリーズです。四季折々の京都の景色を楽しめると同時に、イギリス文化にも触れられるこのシリーズ。NHK Eテレで放送中の「猫のしっぽカエルの手」もぜひ。



『左京区七夕通 東入ル』
『左京区恋月橋渡ル』
瀧羽麻子著 小学館、2009.7-2012.4
【請求記号:913.6||TA73】

「恋して、弱くなって、強くなった」。京都を舞台に大学生たちが繰り広げる青春ストーリー。鴨川、木屋町、錦市場、京都タワーに御所、今すぐ遊びに行けるスポットが山ほど登場します。紅葉シーズンを楽しむのにも役立つはず。三条木屋町のタルト屋さん、景色も味も絶品です。まっすぐで切なくて、不器用で楽しい、そんな恋のドキドキを、続編「左京区恋月橋渡ル」とあわせてどうぞ!



『仏果を得ず』
三浦しをん著 双葉社、2007.11
【請求記号:913.6||M167】

「文楽」のこと、知ってますか?人形浄瑠璃とも呼ばれる、大阪発祥の伝統芸能です。これは文楽の魅力(迫力?)にとりつかれた若き太夫(たゆう・物語を語る人)のお話。文楽で多く演じられるのは、意外にも切ないラブストーリー。修行の身ながら恋に落ちてしまった主人公の苦悩が、文楽で語られる登場人物の心情と重ね合わせてコミカルに描かれます。これを読んだら、日本橋の国立文楽劇場でナマの文楽を味わってみてはいかが?



『戸村飯店青春100連発』
瀬尾まいこ著 理論社、2008.3
【請求記号:913.6||SE76】

性格もルックスもまったく違う、1歳違いの兄弟(兄19歳、弟高3)の1年を描いた物語。弟・コウスケが大阪、兄・ヘイスケが東京を舞台に話は展開します。しゅっとしておしゃれな東京と比べ、吉本新喜劇と阪神タイガースを愛する「いかにも」な大阪人は、ベタながらもやっぱりオモロイ! ごちゃごちゃした大阪下町の人間味あふれる会話と、ウルフルズの歌が「大阪ってええやん」と思わせてくれる作品です。



『ミーナの行進』
小川洋子著 中央公論新社、2006.4
【請求記号:913.6||O24】

芦屋の洋館で育まれる少女ふたりと家族の物語。須磨海岸への海水浴、六甲山での流星観測…なじみのある地名が想像力をかきたてます。なにより「阪神芦屋駅のすぐ近くにある洋菓子屋さん(これは絶対「アンリ・シャルパンティエ」!)」のクレープ・シュゼットは女子にはたまらないキラキラ感! 至福の時を味わえます。少女たちの淡い恋にもきゅんきゅんできる、第42回谷崎潤一郎賞受賞作品。



『太陽の子』
灰谷健次郎・田畑精一画 理論社、1996.1
【請求記号:児童書081||F36||C128】

オシャレだけが神戸じゃない。神戸の下町で繰り広げられる深く切ない物語。沖縄出身の両親を持つ神戸育ちの少女が主人公です。戦争で心に傷を負ったおとなたち。その中で、どんなことにも明るくまっすぐに向き合おうとする彼女の姿勢は、強くけなげで心打たれます。戦争のこと、沖縄のこと、知っておくべきこと、考えるべきことがたくさん詰まった物語。ちょっと昔(1970年代)の湊川公園や新開地などが登場します。



川端康成文学館



ご存知、日本初ノーベル文学賞受賞の偉大な作家、川端康成は茨木市の出身です。この文学館では、直筆原稿や貴重な写真などを見られるほか、文学に親しむための様々な講座も催されています。書齋コーナーで味わう文豪気分はここならまず。書齋コーナーで味わう文豪気分はここならまず。宿久庄について記したエッセイ「私のふるさと」もこの機会にぜひ読んでみてください。

〒567-0881
大阪府茨木市上中条2丁目11-25
TEL: 072-625-5978
<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/shimin/bunka/menu/kawabata/index.html>

司馬遼太郎記念館



大阪が生んだ作家、司馬遼太郎。この記念館は、司馬さんの自宅と、大阪出身の世界的建築家・安藤忠雄が設計した建物で構成されています。日本の史実を正確に読み解こうとした司馬さんの熱意が詰まったこの場所。天井に浮き出た「龍馬像」は歴史だけでなく感動するはず。若い世代に向けた司馬さんからの熱いメッセージをぜひ感じてみてください。

〒577-0803
大阪府東大阪市下小阪3丁目11-18
TEL: 06-6726-3860
<http://www.shibazaidan.or.jp/>

横尾忠則現代美術館



兵庫県出身の美術家、横尾忠則。ご本人からの寄贈・寄託作品を多数揃えるこの美術館では、エネルギーで遊び心いっぱいの横尾作品が鑑賞できる。展覧会が多彩なテーマで開催されています。川端康成など有名人の肖像画が見られる企画展「横尾忠則肖像画展」は2014年1月5日まで。

〒657-0837
兵庫県神戸市灘区原田通3丁目8-30
TEL: 078-855-5607 (総合案内)
<http://www.ytmoca.jp/>

兵庫県立美術館



安藤忠雄設計による、西日本最大級の美術館。魅力ある特別展はもちろん、小磯良平や横尾忠則など兵庫ゆかりの作家を中心とした9,000点以上のおよぶ所蔵作品も順次常設展示。コンサートや映画上映など、無料で楽しめる多彩なイベントも開催しています。

〒651-0073
兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
TEL: 078-262-0901
<http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

与謝野晶子文芸館



情熱的かつ大胆な歌で有名な与謝野晶子は、大阪堺市の出身。執筆活動が続けながら11人の子供を育てました。強くなやかに生きた彼女の人生にぜひ触れてみてください。「みだれ髪」や「明星」などの表紙や挿絵は、当時のヨーロッパ文化の影響を受けたおしゃれで斬新なデザイン。併設の「アルフォンソ・ミュシャ館」(超一流コレクションです!)とともに、女子力UPまちがちな施設の施設です。

〒590-0014
大阪府堺市堺区田出井町1-2-200
ベルマーレ堺式番館 堺市立文化館
TEL: 072-222-5533
<http://akiko.sakai-bunshin.com/>

宇治市源氏物語ミュージアム



後世の数々の文豪が挑んだ源氏物語。与謝野晶子もそのひとりです。宇治市にあるこのミュージアムでは、映像や展示などをおして源氏物語の世界観が堪能できます。近くには宇治十帖の古蹟や世界遺産の平等院、宇治茶のカフェもあり、1日楽しめますよ。

〒611-0021
京都府宇治市宇治東内45-26
TEL: 0774-39-9300
<http://www.uji-genji.jp/>

ちょっとおでかけ

文学&アートの旅 literature & art

小説家や作家の世界に浸れる文学記念館と、関連する文化・芸術施設をご紹介します。さあ、文学&アートの旅へ出発!

文豪が描いた関西

優れた文学者たちが写し出す関西とは? 文化表現学部日本文化創造学科 教授 田中裕之先生が名作の読みどころを紹介していただきます。

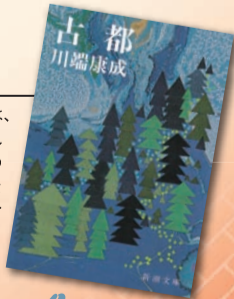


『春琴抄』
谷崎潤一郎著 新潮社、2012.6 (120刷改版) **大阪**

幼くして失明したものの、類い希な美貌の持ち主であり、音曲の才にも優れた、大阪道修町の薬種商・鴉屋の次女春琴と、その春琴に献身的に仕える奉公人佐助。春琴が何者かに熱湯を浴びせかけられ顔にひどい火傷を負ったとき、佐助がとった驚くべき行動とは……。山口百恵・三浦友和主演の映画で鑑賞する手もありはするが、やはり語り巧緻を尽くした原作をぜひとも読んでもらいたい、これぞ谷崎という大傑作。1933年作。

『古都』
川端康成著 新潮社、2010.1 (97刷改版) **京都**

捨て子ではあったが、京都の老舗呉服問屋の一人娘として美しく成長した千重子は、祇園祭の夜に、自分と瓜二つの村娘苗子と出逢う。双子の姉妹は、互いに惹かれあい、懐かしみあいなながらも、一緒に暮らすことはできない……。京都の四季の風景、由緒ある史蹟の数々、祇園祭や大文字の送り火などの年中行事を織り込みながら、川端ならではの流麗な筆致で展開される、京都にかけかけたこと請け合いの長編小説。1962年作。



『城の崎にて』
志賀直哉著 新潮社、2005.4 (67刷改版) **兵庫**

山手線の電車にはねられ怪我をした作者は城崎温泉に養生に出かける。蜂の死骸を見てはその静かさに親しみを感じ、死を逃れようとあぐら鼠の姿を見ては死に到達する前の苦しみを恐ろしく思い、驚かせるつもりで投げた石に当たってイモリが死んでしまうと生と死が両極ではなかったという感慨を抱く、いわゆる心境小説を代表する名品であり、個人的には読むたびに小説とエッセイの境界について考えさせられる短編小説。1917年作。



関西まちあるき本

「ちょこっとおでかけ」に役立つこれらの本は、図書館3F「ラーニング・commons」にまとめて置いてあります。ほかにもカフェやアートの情報など、知っているトクする本がたくさんあるので、ぜひチェックしてくださいね!

建築探訪



乙女心をくすぐる、洋風でクラシカルな空間。ちょっとレトロなヨーロッパを関西で体感してみませんか? 神戸北野エリアは特にオススメ。



「女子旅」には欠かせないこのシリーズ。「旅」というほどではない近距離だからこそ、あえて調べたりすることも少ないのでは? よく行くスポットの知らなかった情報が満載のはず。

甲斐みのりシリーズ



女の子が大好きなお菓子や雑貨、カワイイ場所などをテーマに、ライターとして活躍中の甲斐みのりさん、自分のために手に入れたモノ、誰かと一緒に行ってみたい場所がきっと見つかります。

2013年4月、情報メディア学科に「マスコミ・広告」「アナウンサー養成」「ゲーム・デザイン」「医療事務・情報」の4つのコースが設置されました。2004年に梅花女子大学に本学科が開設された当時と現在では、私たちを取り巻く情報メディアのあり方(メディア環境)はかなり変化しています。特にFacebookやTwitterなどのソーシャルメディアの登場は、私達の日常生活を劇的に変えました。例えば、「今友人が何をしているのか」を知りたければ、電話や電子メールではなくTwitterでのつぶやきを確認した方が効率的かもしれません。(電子メールなどの)従来のメディアとソーシャルメディアの違いは何か、それは一対一ではなく常に一対多のコミュニケーションメディアであることでしょうか。つまり、誰でも不特定多数の人に対して情報を発信する仕組みが出来上がっているのです。

今やケータイ小説などに見られるように、プロの書き手でなくても、一般の人が魅力的なコンテンツを生み出し、さらにそれを多くの人が共有することが可能になっています。世界中の人々がYouTubeにアップされた動画を視聴することは今や当たり前の行動になっています。この動画を生み出しているのは、多くの場合一般の人達です。視聴回数が多い人気動画がテレビ番組で紹介される、あるいは(歌手のスーザン・ボイルのように)アップされた動画がきっかけで人生が一変した人もいます。これらの事例から今やマスメディアが提供するコンテンツよりも一般の人々の生み出したものの方がより魅力的である(あるいは親近感を持てる)と言えなくもありません。

一方で、テレビや新聞などのマスメディアが依然として社会的影響力を持っているのも確かです。例えば、政治や経済に関するニュースについてはテレビや新聞などが重要な情報源となっており、テレビのドラマやバラエティも高い関心を集めています。例えば、先ほど述べた視聴回数の多い動画がテレビ番組で紹介された結果、爆発的に視聴回数が伸びるといった例は枚挙にいとまがありません。このようなメディア環境下では、コンピュータからマスメディアまでを統合的に活用できる素養こそが重要になるでしょう。本学科は、ITスキルを基盤として、メディア業界を中心に多様な業界で活躍できる人材の育成を目的としています。

「マスコミ・広告」コースでは情報を生み出す力を、「アナウンサー養成」コースでは情報を伝える力を、「ゲーム・デザイン」コースでは(ゲームやウェブサイトなどの)情報を通じて人を楽しませる力を、「医療事務・情報」コースでは(患者さんの変化などの)情報に気づく力を養成します。来年度から新たに加わる「ファッションビジネス」コースでは(服装やメークなどの)情報を魅せる力を養成します。学科教員としては、各コースの特性と(学生の)将来の進路を視野に入れ、学生が自分流の学びを展開していくことを期待しています。今回の展示では、各コースの学びの一端を知ることができる資料を中心に紹介しています。今回の展示をきっかけとして、本学科の各コースが「メディア」をキーワードとして有機的につながっていることを実感いただければと思います。

BRA (ビー・アール・エー)に「館長賞」が誕生!

「本を読んで女子力UP!」というコンセプトで始まった読書キャンペーン「Baika Reading Action」は2013年前期で第5回を数えることとなりました。POP作成については第2回から実施しており、毎回数多くの学生さんたちが力作を届けてくれました。そこで今回初めて「館長賞」を設け、素敵な作品を讃えるとともに作者を表彰することにいたしました。



9月3日(火)に表彰式が行われました

BRA20 館長賞(館長賞3名、特別賞1名)

話題性があり、大学生に読んでほしい作品を紹介していること、また「読んでみたい!」と思わせる訴求力のあるPOPであることを基準に選びました。

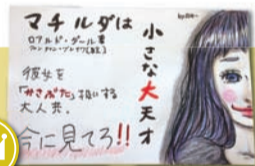
細かい工夫が見事!



作品名「何者」
今村 真子さん
短期大学部 生活科学科 2年

館長より
タイトルの見せ方やレイアウトがとても良いですね。文字にインパクトがあり目に飛び込んできます。

デザインを学んでいるので、「人の目を引く」と「一番何を伝えたいか」ということを考えて作りました。



作品名「マチルダは小さな大天才」
広川 早希さん
文化表現学部 日本文化創造学科 1年

館長より
刺激的で簡潔なコピーがユニーク。読み手がとらえた作品感がイラストによく出ています。

キャッチコピーは、作品を読んでいてひらめきました。勢いのある主人公の雰囲気を感じたいと思って作りました。



作品名「100円グッズでスイーツデコ」
奥 詩央さん
食文化学部 食文化学科 2年

館長より
本を見て実際に作った「本物みたいなクッキー」がPOPに貼られてあり、意外性抜群です。手作り感が際立っています。

実際に作ってみると、表面のザラザラ感やクッキーっぽい焼き色を表現するのが難しかったのですが、好評でうれしいです。

特別賞

選考の過程で、受賞の3点と同じく多くの人に見ていただきたい作品であると判断し、今回特別に館長賞の「特別賞」としました。



作品名「レ・ミゼラブル」
中村 美保子さん
食文化学部 食文化学科 2年

館長より
表現力の豊かさ、確かさが評価できます。手が込んでいて一生懸命さも伝わります。

イラストは得意じゃないので切り絵で表現してみました。作品の内容がイメージできるような柄を工夫しました。

図書館利用に関するデータ

入館者数や貸出冊数など、2012年度の図書館利用に関するデータを掲載します。

(2011年度参考)

2012年度 入館者数/貸出冊数/貸出人数

	2012年度	2011年度
入館者数	67,697人	56,722人
貸出冊数	24,792冊	21,409冊
貸出人数	10,145人	9,020人

1人あたりの貸出冊数

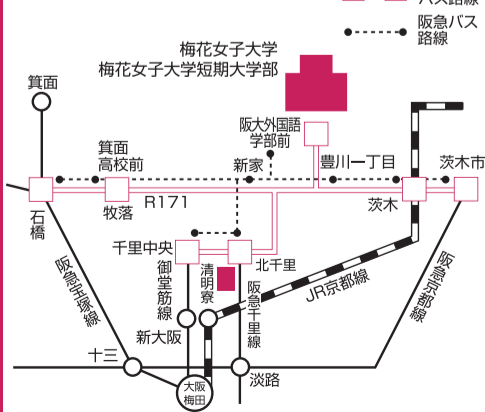
	2012年度	2011年度
大学生	13.72冊	12.16冊
短大生	5.08冊	3.45冊
院生	63.42冊	66.31冊

梅花女子大学図書館

〈月～金〉8:50～20:00
〈土〉8:50～16:00

〒567-8578
大阪府茨木市宿久庄2-19-5
TEL 072-643-8498
FAX 072-643-1952
E-MAIL library@baika.ac.jp
HP <http://www.baika.ac.jp/~lib/>

[交通路線図]



よもやま●BLT(ビー・エル・ティー)27号をお届けします。●今回は、関西が舞台の小説や身近なスポットを紹介しました。田中先生が紹介して下さった、文豪たちの関西作品もこの機会にぜひ読んでみてください。紅葉狩りやクリスマスなど、イベント満載のこれからの季節、おでかけ前のプチ知識としてお役立てください。●秋の展示と講演会は、権世先生が担当して下さいます。2014年4月に誕生する「ファッションビジネスコース」に先駆けて、昨今のファッション業界についてご紹介いただきます。「こころ」を磨いて内面からも女子力UPを目指しましょう。●瀬戸口先生からは「メディア環境の変化と情報メディア学科の学び」と題してEssayをいただきました。情報を活用する力は社会人基礎力でもあり、しっかり身につけたいですね。●読書キャンペーン「BRA(ビー・アール・エー)」では、集まったPOP作品の中から「館長賞」を選び、表彰式をおこないました。受賞者のみならず、おめでとうございます。POPをとおして読書の輪が広がり、広がっていくのは図書館員として本当にうれしいです。利用データの数字もグンと伸びました。●次回28号の発行は2014年4月を予定しています。

学外の方へ

本学図書館は、高校生以上の女性の方に公開しています。大学や研究機関に所属されている方は、男女を問わず、所属機関の紹介状が必要です。これらに該当されない方は、お問合せください。いずれの方も来館される前にご連絡ください。